

令和4年度
一般選抜(前期日程)
文化学科
[言語文化系／地域文化創造系]
小論文
問題・出題の意図・採点評価基準

令和4年2月25日

高知県立大学

I 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

（配点 100点）

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

出典：伊藤亜紗『『うつわ』的利他——ケアの現場から』、『「利他」とは何か』伊藤亜紗編、集英社、2021年

(出題の都合上、出典の文章を一部省略・改変した。)

注

サミュエル・ボウルズ 1939年～。経済学者。

インセンティブ 目標達成の意欲を高めようとする刺激のこと。企業などで与えられる業

績に基づいた報奨金のことを指すこともある。

ページビュー ウェブサイト内のページへのアクセスがどの程度あったのかを測る指標のこと。

ジェリー・Z・ミュラー 1954年～。歴史学者。

NCLB No Child Left Behind の頭字語。

デヴィッド・グレーバー 1961年～2020年。文化人類学者。

ブルーカラー 肉体労働者。

ホワイトカラー 頭脳労働者。

問1 下線部(1)「内発性と外側からの制度の対立」とはどういうことか。本文の内容に即して、300字以内の日本語でまとめなさい。

(配点 40点)

問2 下線部(2)「あらゆる労働が数値によって評価される時代」において、あなたは働くことの意義をどのように見いだしていくことができると考えますか。本文の内容をふまえて、具体例をあげながら500字以内の日本語で述べなさい。

(配点 60点)

<出題の意図>

問1 数字による評価の行きすぎがもたらす弊害に関して、課題文を正確に読み取り、適切な文章で表現ができているかどうかを見る。

問2 課題文の内容に基づいて、現代社会で働くことの意義をどのように見いだしていくのかについて、自分の考えを論理的に記述することができるかどうかを見る。

<採点評価基準>

問1 次の点を見て評価する。

(1) 数字による評価の行きすぎがもたらす弊害に関して、課題文を正確に読み取ることができているか(読解力)。

(2) 筆者の考えを、適切な文章で表現することができているか(文章表現力)。

問2 次の点を見て評価する。

(1) 課題文の理解に基づいて、具体例をあげながら記述することができているか(読解力、課題に対する基礎的知識)。

(2) 現代社会で働くことの意義をどのように見いだしていくのかについて、自らの考えを論理的かつ的確に表現することができているか(論理的思考力、文章表現力)。

Ⅱ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(配点 100点)

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

出典 : Kakuzo Okakura, *The Book of Tea*, IBC Publishing, 2009 (Reprint of G. P. Putnam's Sons, 1906)

(出題の都合上、出典の文章を一部省略・改変した。)

注

Titian ティツィアーノ (イタリアのヴェネチア派画家)

Sesson 雪村 (日本の水墨画家)

affinity 親和性

hereditary 代々の
steep 浸す
prevail 普及する
impulse 衝動
the Tang, the Sung, and the Ming dynasties 唐、宋、明王朝
incline ～したい気持ちにさせる
terminology 専門用語
designate 呼ぶ、称する
Naturalistic 自然主義の
botany 植物学
fatigue 疲れ
administer (薬など) 投与する
paste 練り粉
alleviate 緩和する
rheumatic リウマチ (性) の
Taoist 道教徒
elixir 万能薬
immortality 不死
drowsiness 眠気
meditation 瞑想

問1 筆者が述べる「芸術と人生に関する単純な法則」とは何ですか。また、課題文が執筆された当時の茶の味わい方はどのような「時代精神」を表していますか。それぞれ課題文の内容に即して、計300字以内の日本語で答えなさい。

(配点 50点)

問2 第3パラグラフでは、中国での茶の効用が述べられています。あなたにとって茶はどのようなものですか。課題文で語られている具体的な使用例をふまえて、あなたの考えを150語程度の英語で論じなさい。

(配点 50点)

<出題の意図>

- 問1 茶と人生について書かれた課題文を読み取り、要点をふまえて日本語での確にまとめることができているかどうかを見る。
- 問2 課題文を参照し、適切な事例を示しながら、自分自身の考えを、文法的に正しく、論理的で分かりやすい英文で記述することができるかどうかを見る。

<採点評価基準>

- 問1 次の点を見て評価する。
- (1) 茶と人生について書かれた課題文の内容を、正確に理解することができるか (読解力)。
 - (2) 正しく読み解いた課題文を、適切な語彙を用いてまとめることができているか (文章表現力)。
- 問2 次の点を見て評価する。
- (1) 課題文の理解に基づいて、適切な例をあげることができるか (読解力、知識・理解力)。
 - (2) 自分自身と茶の関係について、自らの考えを論理的に展開することができるか (論理的思考力)。
 - (3) 文法的な間違いがなく、正確に意味が伝わる英文を書くことができるか (文章表現力)。